

令和3年度 新型コロナ感染症対策における 利府三小における音楽科の指導方法



①歌唱→飛沫感染防止のため、マスク着用で、声を張り上げずに歌う。

*可能な限り間隔を空け、向かい合って歌わない。

*手をつないだり、友達の体に触れたりする活動はしない。

②共有楽器を使った活動→使用前後の手洗いを徹底する。

③リコーダーや鍵盤ハーモニカの吹奏楽器の学習は、感染対策をして行う。

*マスクを外す時間を極力少なくし、同じ方向を向いて少人数ずつ演奏する。

*楽器を振り回さない。

*歌口を浅く加えて演奏する。(深く加えると口腔内が広がり、唾液が流れやすい。)

*長期休み前など、鍵盤ハーモニカやリコーダーを持ち帰り、衛生管理を行う。

持ち帰る際には、洗い方も含めて(別紙資料)、学年便りなどで知らせる。

感染対策をしながら、授業作りを工夫していきます!

☆のびやかな歌声→手話や指揮(身体表現)で歌詞や曲想を表現

☆練習隊型→四角形の外向き

1列置きに演奏(リズム打ちや歌唱と組み合わせて一度に吹奏楽器

を吹く人数を減らす)

など...